

## 常任委員会の活動 産業建設常任委員会

**平成25年7月2日、3日に先進地研修を行いました。**

### ○長野県大町市

(一) 用水路を活用した発電施設の取組について (町川発電所)

大町市では「地域新エネルギービジョン」を策定し、自然の恵みを利用した新エネルギーの導入に取り組んでいます。町川発電所は、一級河川高瀬川の左岸地帯をかんがいする池田町川用水路の豊富な水と落差を利用する小水力発電所で、発電

(二) 捕獲した獣肉の活用について

近年、美麻地区における二ホンジカやイノシシによる農作物被害が増加してきたことから、地元有志が「美麻ジビエ振興会」を結成、一部が自家消費されるだけだった狩猟肉(ジビエ)を地元で流通させ、有害鳥獣の駆除にもはみをつける目

### ○長野県北安曇郡小谷村

定住促進事業について

少子高齢化・過疎化の課題を抱える小谷村では、村への移住者に対して住宅取得費用など助成メニューの中から、その費用に充てることのできるポイントを提供する定住促進事業を平成25年4月から開始しました。

**平成25年7月26日に所管事務調査を行いました。**

(一) 放射性物質を含んだ浄水発生土の管理状況について

大室浄水場での放射性物質を含む浄水発生土の保管状況は1210tとなり、指定廃棄物(8000ベクレル/kg以上)200tは特措法に基づきシートで覆い周囲に遮り板を設置して保管、特定廃棄物(8000ベクレル/kg以下)1010t(一部は通常の産業廃棄物基準)は、ビニールシートで覆い保管しています。

(二) 青年就農支援事業について

この事業は、原則45歳未満の独立・自営就農する者を、一定の農所得になるまで最長5年間支援する県単補助事業で、阿賀野市では平成24年度2名が認定を受け、現地調査に伺った熊居新田の遠藤将人さんは、その一人で、県立新発田農業高校を卒業、群馬県川場村で約2力年の農業研修を積み帰省、家業である農業の「園芸部門」を引き継ぎ、新規作物としてイチゴ「越後姫」栽培を開始、営農に意欲を燃やす青年です。

○閉会中の継続調査事項(12月定例会まで)

「阿賀野市観光戦略プラン」の進捗状況について

した電力はし尿処理場の運営に自家消費するものです。この取組により、施設運営の効率化が図られるとともに、地球温暖化対策に向けたCO<sub>2</sub>の削減、新エネルギーの普及啓発に貢献しています。

的で、自己資金のほか県元気づくり支援金を充当して解体施設を作ったものです。振興会ではジビエ料理講習会を開いたり、ジビエ料理が学校給食にも提供されるなど、捕獲した獣肉の活用は広がりを見せ始めています。

事業効果については今後の村の推移を注視し、移住者の受入れ、Uターンのほか人口減少に歯止めをかける転出防止にも配慮した制度の見直しを求められているとの説明がありました。

て搬出、あるいは県外業者への委託処理により保管量を抑制、その他は処理方法が確立するまで新設する保管施設に仮置きする方針です。現状での空間放射線量は正常値内(週1回計測)で、全体的に良好な管理下にあると思われるが、より厳重な管理と情報の適切かつ迅速な提供開示により、周辺住民はじめ市民の信頼確保に努めていただくよう要望します。

「越後姫」は、新潟県の新たな園芸作物として品種育成されたもので、当市も産地指定を受けて特産としての成長を期待、遠藤さんはじめ「越後姫」栽培グループの頑張り、行政や関係機関の適時的確なバックアップが大切と思われます。委員からは、農業活性化への課題が山積する中、6次産業化への取り組みについても指摘、2次、3次業者との連携手法、自己完結型も含め、今後委員会としての取り組み課題とされます。

## 議決結果

7月臨時会 (平成25年第3回 7月29日)

全会一致で議決した議案等			結果
市長提出議案	予算 補正予算	平成25年度阿賀野市一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ10億7,214万円を追加し総額230億4,264万4千円とする。分田小学校耐震化・大規模改修事業費5億7,132万円、不作付け水田等を有効利用できる米粉用米の生産を推進するため、米粉の処理加工施設整備を支援する農山漁村活性化プロジェクト支援交付金4億8,825万円、法人市民税等の還付金が当初見込み金額を大きく上回ったことによる市税還付金1,170万円、参議院議員通常選挙ポスター掲示板の規格変更により選挙事務費87万円を増額。	可決

9月定例会 (平成25年第4回 9月5日~20日)

全会一致で議決した議案等			結果
市長提出議案	決	平成24年度阿賀野市一般会計決算の認定について 歳入総額223億8,591万8,874円、歳出総額215億2,950万8,444円、差引額8億5,641万430円。差引額のうち翌年度へ繰り越すべき一般財源額(継続費通次繰越額、繰越明許費繰越額)1億9,730万33円があるため、実質翌年度繰越額は6億5,911万397円。	認定
		平成24年度阿賀野市国民健康保険特別会計決算の認定について 歳入総額46億9,828万6,917円、歳出総額49億3,101万5,794円、差引額2億3,272万8,877円の赤字となった。赤字額の補てんは平成25年度の歳入を繰り上げて充用した。	認定
		平成24年度阿賀野市後期高齢者医療特別会計決算の認定について 歳入総額7億2,893万5,322円、歳出総額7億2,178万566円。差引額715万4,756円は翌年度へ繰越。	認定
		平成24年度阿賀野市介護保険特別会計決算の認定について 歳入総額43億728万9,291円、歳出総額42億5,478万5,655円。差引額5,250万3,636円は翌年度へ繰越。	認定
		平成24年度阿賀野市公共下水道事業特別会計決算の認定について 歳入総額24億9,946万2,569円、歳出総額24億5,620万7,419円。差引額4,325万5,150円は翌年度へ繰越。	認定
		平成24年度阿賀野市集落排水事業特別会計決算の認定について 歳入総額2億7,595万2,360円、歳出総額2億6,959万1,889円。差引額636万471円は翌年度へ繰越。	認定
		平成24年度阿賀野市押切外四ヶ大字財産区特別会計決算の認定について 歳入総額546万5,703円、歳出総額503万6,164円。差引額42万9,539円は翌年度へ繰越。	認定
		平成24年度阿賀野市少年自然の家特別会計決算の認定について 歳入総額2,505万4,098円、歳出総額2,453万5,284円。差引額51万8,814円は翌年度へ繰越。	認定
		平成24年度阿賀野市工業団地造成事業特別会計決算の認定について 歳入総額4,631万125円、歳出総額4,630万2,331円。差引額7,794円は翌年度へ繰越。	認定
		平成24年度阿賀野市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について 収益的収支は事業収益11億9,095万1,875円、事業費用10億8,367万6,945円、損益計算で8,916万4,384円の純利益となった。この純利益に前年度繰越利益剰余金51万7,482円を加えた当年度末処分利益剰余金8,968万1,866円のうち、8,850万円については減債積立金及び建設改良積立金に積立処分する。資本的収支は収入3億9,711万5,693円、支出9億4,849万2,109円、差引不足額5億5,137万6,416円は当年度及び過年度の損益勘定留保資金、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、建設改良積立金で補てん。	可決・認定
平成24年度阿賀野市病院事業会計決算の認定について 収益的収支は事業収益4億6,441万3,056円、事業費用6億483万2,356円、損益計算で1億4,796万717円の純損失となった。資本的収支は収入2億6,778万7,000円、支出3億5,434万4,292円、差引不足額8,655万7,292円及び収益的収支不足額は当年度分損益勘定留保資金で補てん。	認定		
予算 補正予算	平成25年度阿賀野市一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ1億2,909万9千円を追加し総額231億7,174万3千円とする。子ども・子育て会議に関するアンケート調査・報告委託料177万4千円、京ヶ瀬小学校通学路舗装工事費142万8千円、同音楽室・校長室床張替工事費327万6千円、住宅用太陽光発電設置補助事業費400万円、自治会等から要望のあった道路等修繕料1,500万円、来年度以降予定の大型公共事業や国の財政健全化に関する地方財政の影響を考慮した財政調整基金積立金1億5千万円等を増額。	可決	